

## 2026年度 入学式 式辞

草木が芽吹き、花開く風景を目にするこの頃、穏やかな春の訪れとともに、新たなスタートの時期が来たことを感じます。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご家族の皆様におかれましては、お慶びもひとしおのことと存じます。教職員を代表し、心よりお祝いを申し上げます。また、本日入学式を挙げるにあたり、多くのご来賓、ご家族の皆様のご臨席を賜り、新入生の前途を祝していただけますことに、心より厚く御礼申し上げます。

新入生の皆さんは今、これから始まる大学生活に、期待と不安が入り混じりながらも、引き締まった気持ちでいることと思います。どのような希望を抱いて本日を迎えられたのでしょうか。

大学は高等教育機関です。自分の将来を思い描き、夢を叶えるために必要な能力やスキルを、自ら積極的に学び、身に付けていこうとする姿勢が大切です。人生 100 年時代と言われる現代にあって、長い人生の途上では自分のキャリア形成の軌道を修正しなければならない時もあります。社会を見る視点を養い、その動向をつかむための知識も必要です。そのためには、自ら学び続ける姿勢が重要になりますが、大学での学びはその土台を作る大切な時間です。

日本社会はさまざまな課題や問題を抱えています。既に少子高齢社会に入っており、30 年後の人口は 1 億人を割っていくことが予想されています。都市部に人口が集中する一方で、過疎化が危ぶまれる地域もあります。情報通信技術の目覚ましい進歩により、産業構造も大きく変化しています。また、世界に目を向けると、国際情勢は不安定さを増しており、私たちの生活にも影響が出てきています。

AI をはじめとする技術革新は、私たちの生活や働き方を大きく変えつつあります。ネットの世界を通じて不特定多数の人々と簡単に繋がるようになりました。しかし一方で、目の前にいる人々との人間関係は希薄になっているとも言われています。このような時代だからこそ、人間力が大切になります。具体的には、人を思いやる心、相手の立場になって考える力、共に協力して働く力などです。

本学で学ぶ皆さんの専門分野は、いずれも誰かのために役立ち、人々の生活を支える仕事に繋がるものです。ビジネス社会学科は社会や地域、企業活動を支える人材を、製菓学科はお菓子を通じて人に喜びや幸せを届ける人材を、歯科衛生学科は人々の健康を支える医療人を育てます。

本学は「主・師・親」を建学の精神に掲げ、「育てて送り出す」ことを具現化し、これまで多くの人材を社会に輩出してまいりました。「主」は社会に対する主体的な貢献を、「師」は自分を導いてくれる師と共にひたむきに学ぶ姿勢を、

そして「親」は家族をはじめ自分を支えてくれる人々への感謝を表しています。社会への貢献、学び続ける姿勢、周囲への感謝の心。この三つは、絶え間なく変化する社会を生きるための基盤となるものです。

大学生活での新しい出会いは、今後の皆さんを形作っていきます。学問だけでなく、友人・教職員・地域の人々との出会いやさまざまな経験を通して、学生生活を謳歌してください。

気持ちを新たにしている今、新入生の皆さんに問いかけたいことがあります。これまでやってきたことがないことで、「ぜひやってみませんか」という話があった時、皆さんは「やります」「やってみたいです」と即答し、行動を起こせるでしょうか。いかがでしょうか。

実は、これが「チャンス」なのです。やると決めて行動を起こせば、それがうまくいってもいなくても、大きな学びを得ることができます。一方、行動を起こさなければ、現状のままです。行動した人だけが、自分の殻を破り、可能性を広げることができるのです。しばらく経ってから、「あの経験があったから成長できた」「自分が変わった一つのきっかけだった」と実感するものです。そしてその時になって初めて、それがチャンスだったと気付くのです。チャンスとは、通り過ぎてからその意味がわかるものなのかもしれません。

今日から始まる学生生活を、未知なる自分の可能性を見出す時間にしていただきたいと思います。新たなことにチャレンジすることは常に不安を伴い、勇気を必要とします。今の自分は、これまでの出会いと経験によって形作られています。そして大学生活での出会いと経験は、この先の成長へと繋がっていきます。時には失敗したり、挫折したりすることもあるかもしれません。しかし、自分の可能性を最初から狭めることなく、ほんの少しの勇気を持って人と関わり、物事に取り組み、自分に秘められた可能性を見出してほしいと思います。私たち教職員は皆さんを勉学面だけでなく、学生生活のあらゆる面において全力で支え、共に成長の喜びを分かち合っていきたいと考えています。

大学で学ぶ機会を与えてくださったご家族をはじめ、皆さんを応援してくださっている全ての方への感謝の気持ちを忘れず、この素晴らしいキャンパスで、仲間とともに充実した学生生活を送り、夢に向かう自分を大きく育ててください。

新入生の皆さんの輝ける未来を祝福するとともに、本日ご臨席を賜りましたご来賓、ご家族の皆様の一層のご健勝を心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

2026年4月1日

目白大学短期大学部 学長 小松 由美